

<平成 27 年度>

## 健康部の取り組み実績

健康総務課	枚方市保健所
国民健康保険室	保健企画課
年金児童手当課	保健衛生課
医療助成課	保健予防課
長寿社会推進室	保健センター

※長寿社会推進室・保健所については、別途取り組み実績を作成しています。

### I 重点施策・事業

◆「健康医療都市ひらかた」実現に向けた取組  
コンソーシアムに掲げる8本の連携事業に基づき、構成団体と連携して、地域完結型医療の実現に向けた医療情報ネットワークの構築をはじめ、災害時における医療救護体制の強化や小中学生に対する健康教育、市内の医療機関への医療通訳士派遣を実施します。

#### 実績

- 健康医療キャラバン事業において、薬剤師会・大阪歯科大学等が市内の小・中学生等819人（利用学校数：7校）に対して、薬物乱用防止や歯みがき、食育に関する講習を実施した。
- 6月から英語と中国語を対象言語とした「枚方市医療通訳士登録派遣事業」を開始し、医療通訳士を市内6医療機関に年間131件（英語31件、中国語100件）派遣した。また、1月から、医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、第2回枚方市医療通訳士養成講座（対象言語：中国語、英語、韓国・朝鮮語の3か国語）を開講し、平成28年4月に新たに医療通訳士8人（英語4人、中国語3人、韓国・朝鮮語1人）を登録した。
- こころの健康増進のための連携事業では「こころの健康増進部会（実務者会議）」を立ち上げ精神科と一般科の連携方策について検討、取り組みとして「枚方市内精神科・心療内科 医療機関情報シート」を作成し、枚方市内全医療機関へ配布した。会議開催回数：2回
- 地域完結型医療実現のための連携事業では「枚方市難病対策分野 神経難病対策医療ネットワーク部会」を設置し、第1回実務者会議を開催した。

#### ◆救急医療体制の整備

本市には、北河内夜間救急センターや休日急病診療所などが担う初期救急から高度救命医療を行う三次救急までが整備されており、この機能を維持し、引き続き確保するため、関西医科大学附属枚方病院をはじめとする救急医療機関を支援するとともに、北河内夜間救急センターの事務局として、年間を通じた夜間小児救急医療の円滑な提供に努めます。

また、医師会からの要望も踏まえ、市立ひらかた病院整備後の有効活用地の利用を念頭に、初期救急医療体制の再構築に向けた検討を進めます。

#### 実績

- 二次救急医療機関、関西医科大学附属病院などに対して支援を行うとともに、北河内夜間救急センターの事務局として同センターの適正な運営に努め、年間を通じて夜間の小児救急医療を提供した。

#### ◆健康危機管理の推進

大規模な自然災害や新型インフルエンザ等に備え、健康被害の発生予防や拡大防止、治療等が円滑に行えるよう、災害医療対策会議の専門的な知見を踏まえ、医療救護体制や備蓄医薬品についての検討を行うとともに、新型インフルエンザ等の感染症対策に係る行動マニュアルの整備を進めます。また、医療機関等と連携した健康危機管理体制の強化を図ります。

## 実績

- ・災害医療対策会議を開催し、災害医療に関する情報の交換・共有を図った。
- ・関西医科大学附属病院と枚方寝屋川消防組合が実施する災害訓練に参加し、MCA無線等を活用した情報伝達訓練を行った。
- ・災害時の医療救護活動を迅速かつ適切に展開できるよう、災害医療救護活動等に関する意見交換会を実施した。
- ・新型インフルエンザ等対策に係るマニュアルの策定を行った。

### ◆コンビニエンスストアへのAEDの設置

24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置するとともに、枚方寝屋川消防組合等との連携した普通救命講習を行い、突然の心停止からの救命率向上を図ります。

## 実績

- ・市内の24時間営業のコンビニエンスストア5社と協定を締結し、76店舗にAEDを設置した。(平成28年3月31日現在)

### ◆子ども医療費助成事業の拡充

子育て世代の経済的負担を軽減し、子育て支援をより充実させるため、平成27年12月から子どもの医療費助成制度の対象を中学校3年生まで拡大します。

## 実績

- ・年齢拡大対象者数 20,493人  
(全体対象者数 54,485人)  
拡大分子ども医療助成費 94,867,256円  
対象年齢を拡大することで子育て世帯への経済的支援を充実することができた。

## Ⅱ 行政改革・業務改善

### <行政改革実施プラン(前期)の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
41.特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制 ①国民健康保険特別会計	療養費やレセプト点検の強化による医療適正化を進め、また、特定健診の受診率の向上を図り、疾病の早期発見・早期治療につなげ、医療費の増加を抑制する。

## 実績

- ・診療費請求内容の点検や医療費通知、ジェネリック医薬品の利用促進等により医療費の適正化を進めた。
- ・「徴収率向上対策検討プロジェクトチーム」の設置により、全庁的な取り組みとして債権回収を行うこととした。
- ・「セットけんしん」(集団健診)の実施医療機関を、5医療機関(平成26年度)から10医療機関に拡充した。
- ・特定健診未受診者に対し、対象者の性別や年齢別によって記載内容を変えた個別通知に加え、専門の職員が電話による受診勧奨を実施した。
- ・特定健診啓発強化月間を6月と11月とし、本庁や支所に横断幕や懸垂幕の掲出、図書館や生涯学習市民センターにのぼりの設置、庁用自動車に啓発マグネットを掲示し、広く市民に対して特定健診受診の啓発を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
47.市税等の収入確保	国民健康保険料の口座振替原則化の周知を図るとともに、滞納世帯に対しては早期の接触によって滞納額を抑制し、収納率の向上を図る。

## 実績

- ・24時間納付できるコンビニエンスストアでの納付及び国保への新規加入者に対し口座振替の勧奨を行った。

- ・口座振替率 42.28%（平成 26 年度末）  
→ 43.15%（平成 27 年度末）
  - ・滞納者に対しては、債権回収課と連携及び国保納付センターから電話催告を行うなど収納率向上に努めた。
- また、「徴収率向上対策検討プロジェクトチーム」の設置により、全庁的な取り組みとして債権回収を行うこととした。

#### <改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
健康医療都市ひらかた推進事業	コンソーシアム参画団体が有する社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流による連携事業の推進と様々なツールを用いた情報発信
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成団体がコンソーシアムの連携事業として講演会や研修会を実施するほか、コンソーシアムの普及・啓発のため、コンソーシアムの広報紙である「健康医療都市ひらかたコンソーシアム通信」の発行を行った。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
災害医療対策事業	平成 27 年 3 月 7 日に行った災害医療訓練の検証
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年 3 月 7 日に実施した災害医療訓練の検証を行い、その結果を踏まえ、災害時の医療救護に係る仕組みや関係機関・団体の役割等について確認を行い、認識の共有化を図ることを目的に、災害医療救護活動等に関する意見交換会を実施した。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
食育推進事業	食に関連する団体との連携強化とネットワークによる食育の推進
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市食育推進ネットワーク会議を 2 回開催し、各団体間で情報交換を行った。</li> <li>・枚方市食育推進計画審議会を 2 回開催し、第 2 次枚方市食育推進計画に係る進捗状況の中</li> </ul>	

- 間評価を行い、報告書を取りまとめた。
- ・平成 25 年 3 月に策定した「第 2 次枚方市食育推進計画」に基づき、食育に関する基礎的な知識を有する人材の養成を目的とし、市内の小学 5 年生を対象とした「ひらかた食育 Q&A（子ども用）」を市内全小学校へ配付するとともに 15 歳以下の子どもを持つ保護者を対象に保健センター主催の事業等で「ひらかた食育 Q&A（大人用）」を配付した。
  - ・食育の普及啓発を目的としたイベント「第 8 回ひらかた食育カーニバル」を、関係団体と連携して開催した。

事務事業	取り組み内容・目標
特定保健指導事業	厚生労働科学研究班の効果的な保健指導の開発研究への協力による、効果的な保健指導の検証
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導を担当する職員が、2 日間のワークショップに参加し、効果指標は「肥満度の改善」「検査結果の改善」であることを学び、症例検討及び検査結果による評価を実施している。</li> </ul>	

### Ⅲ 予算編成・執行

#### ◆国民健康保険特別会計の予算編成

国保会計の予算編成にあたっては、高齢化の進展により医療費が増嵩するなかで、国の支援策による低所得者へ保険料軽減措置の拡充と一般会計から保険料軽減のため 3 億円繰入を行うことで、保険料負担を軽減するとともに、30 年 4 月の広域化に向けて財政の健全化をめざします。

#### 実績

- ・低所得者に対する保険料の軽減措置を拡充し、加えて 3 億円の一般会計繰入金を計上することで、多くの被保険者の保険料負担の軽減を行った。
- ・平成 30 年 4 月の広域化に向けて、財政の健全化のため、「枚方市国民健康保険特別会計赤字解消計画」を策定した。

#### ◆財源の確保

子ども医療費助成対象の拡大にあたっては、国において新たに措置された地域住民生活等緊急支援交付金を活用します。

##### 実績

- ・12月から年齢拡大を行ったことにより、医療費助成費やシステム改修費用など149,382,846円の費用を要したが、同交付金148,342,929円を財源の一部としてあてることができた。

### IV 組織運営・人材育成

#### ◆部内の協力・連携

健康・医療・福祉フェスティバルやひらかた食育カーニバルなど関係団体と連携した事業の実施にあたっては、部内各課の協力・連携を図り、来場者の安全確保に努めるとともに、効率的に運営します。

##### 実績

- ・部内各課と協力・連携し、10月25日に健康・医療・福祉フェスティバルを、2月11日にひらかた食育カーニバルを開催した。

#### ◆制度改正に対応した組織運営

マイナンバー制度に対応するシステム改修や国民健康保険の広域化に向けた体制を整えます。

##### 実績

- ・マイナンバー制度に対応するシステム改修を行うとともに、広域化に対応するため、大阪府及び国保連合会との情報連携のツールとなる「国保事業費納付金等算定標準システム」及び「国保情報集約システム」について、対応できるよう準備を行った。

### V 広報・情報発信

#### ◆健康医療情報誌の発行

健康医療都市ひらかたコンソーシアムや構成団体の取組を紹介するとともに、幅広い健康・医療情報を掲載するフリーペーパーを年に2回発行し、「健康医療都市ひらかた」の取組を市内外に発信します。

##### 実績

- ・新たな健康医療情報誌は作成せず、既存の「健康医療都市ひらかたコンソーシアム通信」を活用し、構成団体が実施するコンソーシアムの連携事業等の情報発信に努めた。(第16号～第21号を発行)

#### ◆特定健康診査のPR

受診勧奨のため、市役所など公共施設に横断幕やのぼりを掲げ、公用車に啓発ステッカーを貼付するとともに、定期的にFMひらかたで健康に関する番組を放送します。

##### 実績

- ・特定健康診査の受診を啓発する目的で、市立小学校4年生から6年生を対象に「健康を考えるポスターコンクール」を実施し、健康・医療・福祉フェスティバルにおいて表彰式及び作品の展示を行った。
- ・市役所など公共施設に横断幕やのぼりを掲げ、公用車に啓発ステッカーを貼付するとともに、定期的にFMひらかたで健康に関する番組を放送した。